

2021年度中学校外国語科新教科書分析

－Small Talk にどう活用したらよいか－

An Analysis of Small Talk in English Textbooks for Junior High School

－How Can the Teachers Use Them Effectively?－

中 野 聡

要旨

2021年度から使用する中学校外国語教科書におけるSmall Talkの取り扱いについて分析した。その結果、(1)Small Talkを取り扱う回数は、1年時に一定量があり、学年を進むにつれて減少する傾向がある。(2)Small Talkの話題は、小・中学校学習指導要領のそれぞれの例示に類するものが、ほぼ同じ頻度で扱われている。(3)「意味のあるやり取り」にするための「必然性」を感じさせる話題提供の数は多くはないが、好事例も確認できる。(4)ディベート的なやり取り、教科書内容について自分の気持や考えなどを話す特徴的な話題も見られる。

キーワード：新学習指導要領 (The new school course guidelines) / 教科書分析 (analysis of textbook) / 中学校英語科 (foreign language education of junior high schools) / 話すこと [やり取り] (spoken interaction)

I はじめに

1 Small Talkの定義、位置づけ

これまで、小学校では、「聞くこと」「話すこと」の技能を中心に、中・高等学校では、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能をバランスよく育成することを目指してきた。2020年度、小学校における新学習指導要領の全面実施がおこなわれた。ここでは、「話すこと」を「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」の2つの領域に分け、4技能5領域の育成を目指すこととなった。

この「話すこと [やり取り]」に関わって文部科学省は、「Small Talk」の実施を促している。小学校におけるSmall Talkの目的は、「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック」(2017)によれば、「(1)既習表現を繰り返し使用できるようにしてその定着を図ること。(2)対話の続け方を指導すること。」である。また、指導者としての配慮

は、「We Can! 1 指導編」、「We Can! 2 指導編」(2017)によれば、「(1)5年生では、指導者と児童とのやり取りを、6年生では児童同士のやり取りを想定していること。(2)だれかになりきって話したりするのではなく、自分自身に関する本当の出来事や気持ちなどについてやり取りすること。」などが示されている。

一方、文科省「移行期における指導資料について」(2019)では、中学校でのSmall Talkの取り扱いについて次の点に言及している。(1)「帯活動」(約10分間)でSmall Talkの実施を想定する。(2)身近な話題の中で、自分の考えや気持ちなどを伝え合わせる。そのために教師も自分自身のことを英語で伝え、やり取りを楽しむ。(3)対話を継続することができるような表現を段階的に使わせていく。(4)伝えたいことを伝えることができるよう、既習表現を想起させる指導を行う。(5)「活動→指導→活動」の過程で指導する。(6)指導の成果が出てくるのには、時間がかかることを理解して指導する。(7)「増加すると思われる語」を生徒の発信語となりうるもの、生徒の言語活動に

NAKANO, Satoshi

北陸学院大学 人間総合学部 子ども教育学科
小学校英語科教育法、インテンシブリーディング

において汎用性のある動詞、形容詞、副詞などと定義して、教師は意識的に使用する。(8)トピックは、教科書題材を参考に、生徒に身近なものを選択する。具体的には、「秋にする好きなこと」「職場体験」など1、2学年の例として17トピックを例示している。

国立教育政策研究所(2020)は、学習評価に関する参考資料の中で「話すこと〔やり取り〕」について例示している。そこでは、「AIの進歩と私たちの生活」に関する90語ほどの英文を読み、その後このテーマについてどう考えたり、感じたりするのか、また互いの意見や感想についてどう思うかをやり取りすることが想定されている。例として「AIがいろいろなことをやってくれることで、人間は助かる。一方、多くの人々が働けなくなる不安もある。」としている。

このことについて山田(2020)は、(1)Article about AIに関して読んだ英文を引用して話すこと、その大切な単語を使用すること。(2)I think, In my opinionなどを使って、自分の考えたことや感じたことなどを、理由ともに述べていること。(3)自分の考えばかりを述べるのではなく、相手の考えを求めたり、話題を広げたり深めたりしながら対話を継続していくこと。これらの力が、中学生の「話すこと〔やり取り〕」に求められると述べている。

2 「意味あるやり取り」を大切にする背景

第二言語習得研究の立場から「やり取り」を大切にする背景として次の点が挙げられる。ウィドゥソン(1978)は、「しゃべる(speaking)」と区別して「話し合う(talking)」は、「言う(saying)」と「聞き取る(hearing)」の2つの側面が相互補完的(reciprocal)関係にあるとする。これは、学習指導要領の「話すこと〔やり取り〕」とほぼ同義である。「話し合う(talking)」ことは、相手とのやり取りの一部として起こり、相互作用においてその前後に話されたことがわかってはじめて理解される。つまり、他の人がその時まで言っていたことを理解した上で、言葉を受容することと産出することの両方を含む相互のやり取りの一部である。また、話すという行為は、ジェスチャーを用いたり、顔の筋肉を動かしたり、からだ全体を

動かしたりすることにもまさしく関わっている。重要なことは、学習者が話し言葉という形態において単に「しゃべる・聞く」のレベルから「話し合う」というレベルへ移行しなければならないという考えを教師が受け入れる必要があると主張している。

ロング(1996)は、「インタラクション仮説」を主張する。この仮説では、第二言語習得の基本は、インプットしながら、これに加えて対話を行うことで、言語理解が促進されると主張している。具体的には、対話において、学習者が分からないことを聞き返したり、内容を確認したりすることで、初めは分からなかったことが理解できるようになり言語習得が進んでいくとされる。

また、鈴木(2018)によれば、学習者の中間言語に係る間違いの訂正フィードバックについて、学習者が間違いを指摘されることによって自信を失うことになる可能性を考慮して、一切すべきでないという考え方と、間違いは指摘すべきであるという考え方もある。後者は、(1)生徒が話した英語が理解出来ない時に、ある種の訂正フィードバックを自然に与え学習者が間違っていたことに気付かせることで改善されること。(2)学習者は、自分たちの間違いを直してやることを望んでいること。(3)訂正フィードバックはある程度の効果が保証されていること。をその論拠としている。具体的にはペアワーク等で人間相互にコミュニケーションをとる際のみ現れる最接近発達領域(Zone of Proximal Development : ZPD)を作り出し、互いの学習に貢献し合う。具体的には、ペアでメンバーの互恵的依存関係(positive interdependence)を意識した上で、時には、相手の発言が理解できないというメッセージを伝えたり(明確化の要求)することの意義も指摘されている。

廣森(2015)は、Small Talkはこれまで学んだことを基にしてアウトプットする機会とすれば、その意義を(1)自らの第二言語能力の「穴」に気づくこと。(2)自らの中間言語に関する仮説を検証する機会となること。(3)「意味処理」(semantic processing)に加えて文法などの「統語処理」(syntactic processing)を促進すること。(4)言語知識の自動化を促進すること。の4つにまとめて

いる。

一方、Small Talkは、中野（2020）でも述べた通り、ビジネス界でも注目されている。最近でも、佐藤（2021）では、「クライアントの判断軸は仕事の話をしているだけでは、なかなか見えてきません。最終的には感覚的に掴んでいくのですが、その際に役立つのが雑談です。特に趣味の話はお薦めです。」と述べている。また、柴田（2021）は、「雑談は、ビジネススキルとして大切ですね。トピックとしては、興味のあること、政治以外の最近のトレンドにかかわることは、ビジネス界でも注目されている。」と述べている。Small Talkは、「世間話、雑談、おしゃべり」を意味するので、生涯学習の基礎を培う小中学校で、その価値を認識したいところである。

3 Small Talkに関わる現状

学習指導要領中学校外国語科（2017）では、「話すこと（やり取り）」における目標として「(7) 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。(イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。(ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。」の3点を挙げている。

これら目標に関わってSmall Talkを実施する際に留意点として(1)小学校で実施したSmall Talkの目標を意識して中学校への接続を意識して中学校で扱う語句や文を用いること。(2)話す内容をまとめ、コミュニケーションの見通しを立てること。(3)「社会的な話題」とは、「聞くこと」「読むこと」における社会で起こっている出来事や問題に関わる話題のことで、広く国内外で起こっている事情で、多様な考え方のできるようなものであること。などに言及している。

一方、現在の中学生にこうしたことに関連した力はどれほどあるのかは、全国学力・学習状況調査（2019）から明らかである。このテストの具体は、アラン先生が家族の写真をみせながら日本人

中学生ユイコと会話している様子を聞き取り、最後に“Do have any other questions about them?”と尋ねるアラン先生に英語で答えるというものである。この問題の正答率は10.5%である。正答率の低い要因として具体的には、(1)ユイコとアラン先生のやり取りの内容を理解していないか、何を問われているのか理解していないため、適切な英語で応答できていないと考えられる。(2)いつ自分の発話機会が訪れるか分からない状況で、話されているやり取りを聞きながら、即興で応じることに慣れていないと考えられる。これらのことから、指導者が心掛けるべき指導ポイントは、(1)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを設定し、言語活動と指導を繰り返しながら、表現内容の適切さや英語使用の正確さを高める。(2)自分の考えなどを短時間で構成して伝え、質問に答えできるようになるため、大まかな流れや主要な点を確認できるマッピングやメモなどを活用する。(3)生徒を膨らめていくイメージをつかむために、教師が対話を継続・発展させるためのモデルを示す。(4)生徒が伝えようとしている内容を大切に、教師が生徒とのやり取りを楽しむ。としている。

和田他（2020）は、「小学校外国語活動・外国語研究ガイドブック」（2017）に示されたSmall Talkにみられる教師の発話分析の結果、MERRIER Approach（Model/Mime, Example, Redundancy, Repetition, Interaction, Expression, Rewardの7つの方略）が提供されており、特にInteractionの使用が多いこと、質問者が答えを知らないReferential Questionが多く見られ、Small Talkは真正性のある言語活動として機能しているとしている。また、山口・巽（2020）は、実践に基づいた分析結果としてSmall Talkの継続的な指導によって①児童生徒の即興的な会話で発話相互数が増加した。②会話で使用できる語彙の種類、英語表現の種類は学年が進むにつれて多くなった。小学校高学年、中学校1年生では、使用できる形容詞の種類が多かった。③小学生は英語の表現を、固まりとして捉えてそのまま別の場面で使用する傾向があったが、中学生は場面に合わせて応用した表現が用いられ、疑問詞を使った文を用いることができていた。など成果を報告して

いる。また、八島(2020)は、高校生に対して Small Talkを毎時間5分間ずつ行った結果、生徒の英会話の中での質問数や応答数の平均値が上がっていることが明らかになった。また、即興性が高いと正確性が高いとも述べている。いずれにしても、Small Talkの有用性が明確になった。

一方、ベネッセ(2018)では、中学校3年生に対して「将来、英語が使えるようになるためには、どのようなことが大切だと思いますか。」とアンケートを実施し、「1位 単語を覚えること(47.6%)」「2位 英語を聞くこと(39.9%)」「3位 英語でやり取りをすること(38.4%)」という結果から、他の学習方法に比べて、「英語でやり取りをすること」への意識が高いことが明らかになった。

上山他(2019)では、Small Talkに関連したアンケート調査を実施した。その結果、「原稿などを準備することなく、即興で、自分の考えや気持ちなどを英語で伝えあうことができる」と回答した生徒は、「よくできる」「できる」を含めて67%である。この67%に含まれる肯定的な回答をした生徒に「どの活動を通して力が身に付いたか」という質問肢に対して「英語で友達と会話すること(148回答数(n=310)、71%)」と回答している。また、最初の質問に対して否定的な回答をした生徒に「どの活動をすれば力が身に付くと思うか。」という質問肢に対して「英語で友達と会話すること(69回答数(n=310)、66%)」と回答している。

これらのことから、中学生同士が会話する機会として、Small Talkを通して「話すこと〔やり取り〕」の力を高めていくことは、大切なことである。

4 Small Talkの話題について

以上の経緯から、小・中学校においてSmall Talkが頻繁に行われるようになった。改めて、Small Talkにおける即興性とは、「事前に準備した英文などを用いずに、場面や状況に応じて既習の英語を適切に使い、話すことができること」と定義する。

このSmall Talkを効果的に指導するために、上原他(2018)は、「学習者が実際に使うことがで

きる語彙等(発信の言語材料)と既存の背景知識から自分の考えを表現できるトピックを精選する必要がある。発信に使える言語材料に個人差があるとすれば、それに対応する手立てを考えることが必要である。」と述べている。

また、菅(2017)は、「高学年にもなれば知的好奇心も強くなり、題材に心が動かないと子どもの口から言葉はでてこない。やり取りを行う題材やトピックは、子どもの発達段階に応じ、日常生活で興味・関心のある身近で馴染みのあるものを取り上げることが重要である。」と述べている。これらのことから、Small Talkにおける話題の重要性は明らかである。

中学校において、2021年度より使用されている新教科書は、教育基本法に掲げる目標を達成するために、学習指導要領の趣旨に沿いながらも、それぞれの独自性を打ち出したものである。各社の編集方針等(2018)からは、各教科書が小学校での学びを生かして、中学校での学びにスムーズに接続する小学校英語の教科化に伴う小学校での体験をふまえ、円滑に中学校での学びへとつなぐという意識を持っていることが読み取れる。

中野(2020)では、Small Talkに関して小学校外国教科書分析を行った。ここでは、(1)多くの教科書が「意味あるやり取り」を意識したSmall Talkを取り扱っているが、量的・質的に十分とは言えないこと(2)どのような話題でSmall Talkを行うかは、重要であり、そのため指導者による学習内容分析、児童の興味関心に関する実態調査の大切さと話題の整理の仕方が大切であること(3)「意味あるやり取り」にするために、「必然性」をどう児童に感じさせるかについては、指導者の工夫によるところが大きいことが明らかになった。

しかし、ここでは中学校の教科書については、新旧いずれの教科書も分析対象にしなかった。中学生を指導する時、中学校外国語科教科書にどのようなSmall Talkは取り扱われているか、どのような話題が提示されているかを調査することの意義は高い。加えて、小中連携の大切さを考えた時、小・中学校の教科書について同じ視点で分析することで明らかになることもある。

II 研究

1 調査の目的

本研究の目的は、英語中学校新教科書中のSmall Talkをどのように活用できるのかという視点で、どの程度の頻度で話題提供がされているのか、Small Talkにはどのような話題が扱われているのか、言語活動で大切にしたい視点がどれほど実現できるものか、そして小学校教科書のSmall Talkの取扱い方の違いという言う視点から教科書を分析、考察する。

2 教科書分析の手順

(1) 対象及び範囲

中学校外国語科の検定教科書、以下の6種類3学年分、合計18冊を分析対象とする。

教科書一覧

NEW HORIZON English Course 1	東京書籍株式会社
NEW HORIZON English Course 2	東京書籍株式会社
NEW HORIZON English Course 3	東京書籍株式会社
SUNSHINE ENGLISH COURSE 1	開隆堂出版株式会社
SUNSHINE ENGLISH COURSE 2	開隆堂出版株式会社
SUNSHINE ENGLISH COURSE 3	開隆堂出版株式会社
NEW CROWN English Series 1	株式会社三省堂
NEW CROWN English Series 2	株式会社三省堂
NEW CROWN English Series 3	株式会社三省堂
ONE WORLD English Course 1	教育出版株式会社
ONE WORLD English Course 2	教育出版株式会社
ONE WORLD English Course 3	教育出版株式会社
Here We Go! ENGLISH COURSE 1	光村出版株式会社
Here We Go! ENGLISH COURSE 2	光村出版株式会社
Here We Go! ENGLISH COURSE 3	光村出版株式会社
BLUE SKY English Course 1	株式会社新興出版啓林館
BLUE SKY English Course 2	株式会社新興出版啓林館
BLUE SKY English Course 3	株式会社新興出版啓林館

(2) 分析の視点

教科書にあるSmall Talkを指導でどのように活用したらよいのか、これらをヒントとしてどのように指導を発展させたらよいのかを考えるために次の4つの視点から分析を行った。

ア Small Talkが、1年生、2年生、3年生の各学年で、あるいは全体でどれくらいの回数取り扱われているか。

全体に、「Small Talk」と明示されている教科書が多い。加えて「友達とやり取りをしましょう」「友達と話してみよう」という表現でSmall

Talk活動を促している箇所もみられる。一方で、一つのページに3つの段階を踏んで、一つのSmall Talk活動を進めるよう意図するところもあるが、この場合は1回と数えた。

イ アでSmall Talkの対象とした活動について、どのような話題がとりあげられているか。

「身近な話題」としてどのようなものが取り上げられているかを分析対象とした。全体的な傾向としてどのような話題が多いのか。小学校教科書に取り上げられている話題も取り上げられているのか、中学校教科書に特有の話題にはどのようなものがあるのかを明らかにする。

ウ 言語活動で大切にしたい「意味あるやり取り」の基礎条件として備えていたい4つの要素「相手意識」「必然性」「ほんもの」「コミュニケーションの楽しさや意義」を意識した活動となっているか。

直山(2020)でも指摘された質の高い言語活動を展開するために大切に上記に示した4つの視点は、各Small Talkにどの程度意識されているのかを分析の視点とした。

エ 小学校教科書と中学校教科書とのSmall Talkの話題に関する違いはあるだろうか。

小学校教科書分析の経験も踏まえて、同一の分析者が気づく中学校教科書におけるSmall Talkの特徴的と思われることを明らかにする。

III 分析結果・考察

以下の4つの視点に従って分析していく。(表1「Small Talkに関する4つの視点を含む分析表の一部」)

1 Small Talkが、1年生、2年生、3年生の各学年で、あるいは全体としてどれくらいの回数取り扱われているか。

分析結果(表1)から、次のようにまとめられる。第1にいずれの教科書も「話すこと〔やり取り〕」を意識したSmall Talkが取り扱われている。6教科書の総数は、505回である。学年の平均は、1年生が、36.8回、2年生が、27.7回、3年生が19.7回である。年間160時間の授業時数に対して、1年生は、およそ4回に1回、2年生は、およそ6回に1回、3年生は8回に1回の割合でSmall Talkの話題提供が行われていることになる。

表1 「新学習指導要領の示すSmall Talkの話題に関する教科書別指標別頻度表(中学版)」

小学校学習指導要領関連 No. 指標	教科書A			教科書B			教科書C			教科書D			教科書E			教科書F			合計
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
1 自己紹介	1												2				1		4
2 挨拶	1																		1
3 指示・依頼																			0
4 感謝							1												1
5 自分の好み、気持ち(好き、嫌いなど)	10	6	1	6	12	1	3	4		9	5	4	11	8	4	12	3		99
6 要求							1												1
7 食事のこと	10								1										11
8 事実			2				3									2	3		10
9 家庭での習慣・生活				1				2		3			3	5	1				15
10 ペット	2				1					1		1	1	2					8
11 子どもの遊び																			0
12 物の形態や数																			0
13 場所					1		1	1			1			1				1	6
14 授業計画																			0
15 好きな場所	2				2									2	1		1		8
16 道案内																			0
17 地域行事																			0
18 買い物(レストランの注文の含む)										1									1
19 趣味	1			1	2	1	1				1						1		8
20 得意なこと(できること)	1		1	4	3	1	1			3			2		8	2		3	29
21 就きたい職業	1													1					2
22 時刻																			0
23 友達について	1			3			1						2	1	1	2			11
24 学校での生活	2			1	3	1		1		1			3	3	3	2			20
25 小学校の思い出				2	1					1									4
26 行ってみたい国	1	1	1	1							1		2						7

小学校と同じ話題	246
----------	-----

中学校学習指導要領関連

27 スポーツ	6				1			1		1	2	3	1	1		1	1		18
28 音楽				1						2	2	2	1		1				9
29 映画								1		1	1		1			2			6
30 テレビ番組	1				1								1			1			4
31 学校行事		1			1		1			1	1		1	1	1				8
32 休日の計画	2	1			2		2			2	3			2		1	2		17
33 日常の出来事													2	1		1			4
34 日常の話題①生徒自身や家族に関すること	4	3	2	3	8	6	2	2	2	5	3	5	6	13	12	7	1	2	86
35 日常の話題②生徒の興味・関心の対象となること	4	4	6	11	6	15	2	1	1	1	10	12	8	1	1	1	1	2	87
36 日常の話題③社会生活で必要なこと	3							4			1		1				1		10
37 社会的な問題①エネルギー問題		2	2			1						1			3		1		10
38 社会的な問題②環境問題など																			0
小中総合計	53	20	13	34	44	26	19	16	5	32	31	28	48	42	38	35	13	254	

中学校の新たな話題	259
-----------	-----

教科書に差がある顕著な例は、教科書Aで、「53回→20回→13回」と漸減しており、他教科書もこれほど大きくはないが、同じ傾向を示している。ただ、教科書Bは、1年生よりも2年生の回数が増えている。その理由は、教科書Bは、巻末に課題をリスト化して示して、1年教科書では、2年教科書よりも多くの回数「Small Talkをやってみよう」と表示されているためである。小学校5、6年生の話題提供回数が授業時数4回に1回の割合でなされている。仮に、教科書でSmall Talkが取り扱われているたびに実施した場合、小学校から中学校1年生への移行は、スムーズに行われるものと思われる。

表2 「教科書別Small Talk取り扱い回数」

教科書名	学年別取り扱い回数	教科書別取り扱い回数
A 1年	53	86
A 2年	20	
A 3年	13	
B 1年	34	104
B 2年	44	
B 3年	26	
C 1年	19	40
C 2年	16	
C 3年	5	
D 1年	32	91
D 2年	31	
D 3年	28	
E 1年	48	128
E 2年	42	
E 3年	38	
F 1年	35	56
F 2年	13	
F 3年	8	

第2に、教科書別にみると、Small Talk 取り扱い回数の多いものと、比較的少ないものがある。最も多い教科書Eは、128回、一番少ない教科書Cは、40回と両者には約3倍の開きがある。3学年合計年間授業数に対する割合は、教科書Eは約3.8授業回に1回、教科書Cは約12授業回に1回の割合で実施が促されていることになる。

第3に、学年を進むに従ってSmall Talkの話題提供回数は、減少の理由として次のことが考えら

れる。まず、学年を進むにつれて、学校生活、社会生活、世界への視野を広げた話題提供が増加している。生徒が自分の知っている事実や自分の考えや思いを伝えられるようになるためには、同じ話題を何度か取り扱うという可能性もある。また、「話すこと〔発表〕」の機会が学年を進むにつれて増えてくるため「話すこと〔やり取り〕」の時間を減ずることも考えられる。こうしたことから、Small Talkの回数が減じている可能性もある。

また、同じ課題についてグループやクラス全体で意見交換する場面が想定されていることも学年を進むにしたがってSmall Talkの話題提供回数が減少する理由と考えられる。

いずれにしても、話題提供されている場面だけSmall Talkを取り扱えばいいということではないと考えることが望ましい。山口・巽(2020)は、「継続的な取組による効果を目指す場合、指導者は教科書で促された以外にも計画的にSmall Talkを実施する意識が大切になってくる。」と述べている。特に、Small Talkの話題提供回数が少なめの教科書を使用している場合は、別の授業でも必要に応じてSmall Talkを行う配慮が必要である。

2 1でSmall Talkの対象とした活動について、どのような話題がとりあげられているか。

中野(2020)で示した「新学習指導要領の示すSmall Talkの話題に関する教科書別指標別頻度表」の分類指標に、中学校学習指導要領(平成29年告示)解説外国語科出てくる例示11項目を付け加えて新たな分類指標を作成した。

この11項目とは、「休日の計画」「日常の出来事」など比較的身近な話題から「エネルギーに関する社会的な問題」など世界に目を向けた話題も含まれている。これらを「3、4年生 学習指導要領に示されるSmall Talkの話題例」「5、6年生 学習指導要領に示されるSmall Talkの話題例」で活用した5つの枠組みを使って「中学校学習指導要領に示されるSmall Talkの話題例」(表3)に整理した。また、小中学校すべての話題を同じ枠組みを使って「小中学生 学習指導要領に示されるSmall Talkの話題例」(表4)に整理した。なお、5つの枠組みに収めるよりも複数の枠組みにわたって場面設定がされている場合は、□

で示す。

この指標を使用することで、中学校ではどのような話題が取り扱われているのか。また、小学校で扱ったSmall Talkと同一の課題がどれほど中学校において取り扱われているのかも概観することができる。

表3 「中学校 学習指導要領に示されるSmall Talkの話題例」

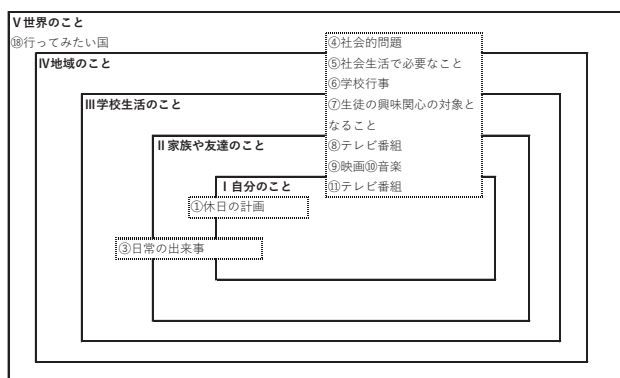
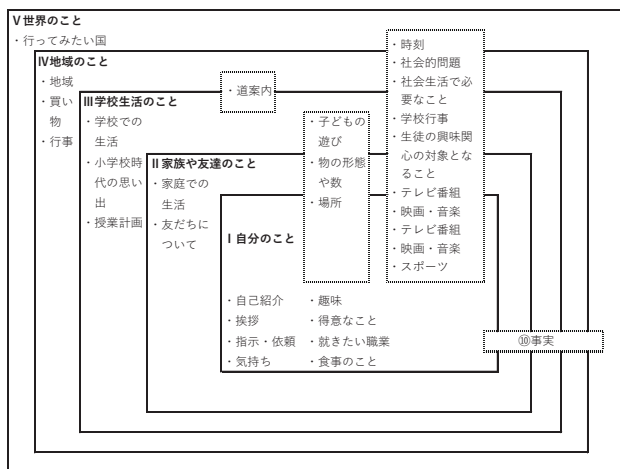


表4 「小中学校 学習指導要領に示されるSmall Talkの話題例」



これらの指標を使って、分析した結果（表5「新学習指導要領の示すSmall Talkの話題に関する教科書別指標別頻度表（中学版）」）からいくつかのことが明らかになった。

第1に、「小学校学習指導要領外国語活動、外国語編（2017）」「中学校学習指導要領 外国語編」（2017）に示された指標に基づいて分析した結果、話題は多岐にわたっている。具体的に、38指標のうち30指標にかかわる話題を取り上げている。取り上げていない指標は、「子どもの遊び」「物の形態や数」「時刻」など小学校中学年の外国

語活動から取り上げた話題指標である。取り上げない理由として、これらの指標については、ある程度の定着が見られること、改めてこれらの話題で話すことは、中学生の精神的な発達段階に合わないと考えられる。また、他の話題でもこれらの扱われなくなった話題で使用される既習事項定着を図ること可能である。三浦（2021）は、「幼稚な話題はさせないこと。大人の会話にした方が生徒は熱心に取り組みます。」と言われることとも符合する。

第2に、小学校教科書分析で使用した指標（No.1～26）と、中学校学習指導要領に示されたこと参考に作成した中学校版で新たに付け加えた指標（No.27～38）に関連した話題の差を比較してみる。（表1）話題総数505の内、小学校指標に関連する話題が246、中学校指標に関連する話題が259とほぼ半分ずつである。これは、小学校で扱った話題の中で、中学校でも意欲をもって話し続ける気持ちの持てるものを扱うことで既習事項の定着を図り、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる力を育成できるものであるという考えであろう。

一方、中学校指標は12項目と小学校26項目に比べてその指標数が少ない。それにもかかわらず、約半数の話題はこの12項目の指標にかかわるものである。3年間にわたり、週4時間の英語科授業の中で、中学生らしい話題についてSmall Talkをすること意図した教科書の話題提供であり、意味のあることである。菅（2016）の言う「心が動く課題」のヒントが提供されている。

第3に、指標別に特に多くの教科書が話題としていることを見ると、小学校指標の中では、「自分の好み、気持ち（好き、嫌いなど）」に関する話題が合計99と多くなっている。「好きなテレビ番組」「好きな教科書の登場人物」など、それほどのような内容、あるいはキャラクターなのかを説明し、なぜそれらが好きかを説明することが中学生の目指すべき方向性であるという意図が教科書から読み取れる。

また、「得意なこと、できること」は、小学校教科書にも27回と多くみられ、中学校教科書には29回見られる。話題としても中学校では、「特

技」という話題がよく出てくる。具体的には、「クラスメートが得意なことはどんなことか。」という話題によって、いろいろな仲間とのSmall Talkを通して、仲間ができることを理解し、他者に伝えることもできるようになる。また、英語で「Can you cook *Takoyaki*?」と話題が提供されて、生徒はたこ焼きづくりができるのかできないのか。他の料理はどんなのかということも話を続けることができる可能性を含んだ話題提供となっている。

3 言語活動で大切にしたい「意味あるやり取り」の基礎条件として備えていたい4つの要素「相手意識」「必然性」「ほんもの」「コミュニケーションの楽しさや意義」を意識した活動となっているか。

山田(2021)では、書くことについての評価例として「例えば、9月に来るALTにこの町の魅力を紹介してほしいということは、評価することは難しい。そのALTが、どこから来たのか、何に興味があり、何をしたいのかを生徒に伝えて書かせるならよいと思う。」と述べている。このことから小学校同様に、中学校においても、「意味あるやり取り」が大切に大切にされていることがわかる。

「Ⅲ 1」でSmall Talkの対象とした505の話題について、4つの要素はどれほど意識されているのかを確認するため、4つの要素を指標として分析的に調査した。確かにその要素を含んでいるものは、「あると思われる。」(Y)「ないと思われる。」(N)「どちらともいえない。」(?)の基準で分析した。主観的判断になることを避けるために、最初の分析時点で判断に迷った話題については、1週間後に再吟味し、分析表にまとめた。「学年別Small Talkにおける4つの視点別頻度表」(表6)、「各Small Talkにおける4つの視点別頻度表」(表7)に示したとおりであり、次のことが明らかになった。

第1に、いずれの教科書も、各Small Talkが3つの要素を含んでいるものが多く、全体の傾向として3つの指標が大切にされたものがほとんどである。

第2に、「必然性」については、「どちらともい

えない。」(?)と判断する話題が多くなった。中でも、必然性を含む好事例としては、「相性チェックを使用」という話題があげられる。会話例としては、「A : I like English. How about you? B : I like English.」「A : I like natto. How about you? B : I don't eat natto.」が示されている。(教科書B) また、「好きな食べ物や飲み物を伝え合いましょう。好みと同じ人はいるかな。」という話題がある。(教科書A)

小学校教科書にみられた単語練習のためのゲーム的な話題や「○○になったつもり」という話題は見られない。これは、小学校で培った英語の知識・技能を活用して「話すこと〔やり取り〕」の力を付けた段階の生徒を対象としているためとも思われる。

そして、○○のためにSmall Talkを楽しむという意識が、この必然性と関係していると考えられる。

表6 「Small Talkにおける4つの視点別頻度表」

視点	1年生合計			2年生合計			3年生合計			1・2・3年生統計		
	相手意識	必然性	ほんもの	相手意識	必然性	ほんもの	相手意識	必然性	ほんもの	相手意識	必然性	ほんもの
あると思われる (Y)	221	7	221	166	3	166	166	118	0	118	118	505
ないと思われる (N)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
どちらともいえない (?)	0	214	0	0	163	0	0	118	0	0	0	495

表7 「各Small Talkにおける4つの視点別頻度表」

視点数別	1年合計	2年合計	3年合計	総数	%
4視点ある	15	3	0	18	3.5
3視点ある	206	163	118	487	96.5
2視点ある	0	0	0	0	0
1視点ある	0	0	0	0	0
0視点	0	0	0	0	0

このことに関連して、指導者は教科書にある話題を再吟味して、いつ行方がよいか、どのように変化をつけることがよいかを考えてから実施することが望まれる。例えば、「明日は台風が来るといふ予報が出ています。例にならって、どんな準備をするか話し合いましょう。」と話題提供があり、「A : I'll buy water. How about you? B : I'll clear

表5 「Small Talk に関する4つの視点を含む分析表の一部」

	教科書A						教科書B						教科書C															
	質問	話題	言語活動の4つの視点 相手意識	必然性	ほんもの	さ・意の美し	シ・ユ・ニ・ケ	ページ	気づいたこと	質問	話題	言語活動の4つの視点 相手意識	必然性	ほんもの	さ・意の美し	シ・ユ・ニ・ケ	ページ	気づいたこと	質問	話題	言語活動の4つの視点 相手意識	必然性	ほんもの	さ・意の美し	シ・ユ・ニ・ケ	ページ	気づいたこと	
1年生	好きなものについてたずね合おう	好きなもの	Y	?	Y	Y	5	小学校の復習	相性チェックをしよう。例 A: I like English. How about you? B: I like English. (ペアで一致) A: I eat natto. How about you? B: I don't eat natto.	好きなもの	Y	Y	Y	Y	34	提案の仕方の工夫あり。やり取りはグリーンマーク	ペアやグループで、好きな教科や、習いごとについて話してみよう。	好きな教科、習い事	Y	?	Y	Y						
	食べ物	好きな食べ物	Y	?	Y	Y	5	曜日と天気の違い	曜日と天気の違い What day of the week is it today? How's the weather today? It's sunny.	曜日、天気を聞こう	Y	N	Y	Y	36	ペアやグループで、あなたの一日の生活について話してみよう。	1日の生活	Y	?	Y	Y							
2年生	週末の予定について②ペアになり、①で書いたメモをもとに自分や相手の予定について対話しましょう。例: A: What are you going to do this weekend? B: I'm going to go fishing with my father on Saturday. A: That's nice. (Cool./Great./Really?)	週末の予定	Y	?	Y	Y	11	①春休みの思い出について話そう。	春休みの思い出	Y	?	Y	Y	9	欄外上段にグリーの吹き出しに出してくる。下の文法事項とかかわりがあるわけでもない?	将来の夢やしてみたことについてペアで話そう。例 A: What's your dream? B: My dream is to travel around the world. How about you? A: I want to be a vet and save sick animals.	将来の夢、したいこと	Y	?	Y	Y					23	writeと関連した活動としている。	
	自由時間に何をするかについて、クラスメートにインタビューしましょう。また、聞き取ったことをメモしましょう。例もある。メモの枠組みもある。	自由時間の過ごし方	Y	?	Y	Y	25	②来週の予定について話そう	週末の予定	Y	?	Y	Y	11	Try ペアで、学校での勉強やスポーツ、習い事などについて、自由に話しましょう。	学校の勉強、スポーツ、習い事	Y	?	Y	Y							34	tryとしてきりげなく出してくる。
3年生	これまでどんな経験をしたことがあるか、たずねてみましょう。まず、したの表に聞きたいことを項目別に整理しましょう。したことがある回数なども聞けるといいね。その経験を「どこでしたか」をたずねるときは過去形を使うよ。	経験、回数	Y	?	Y	Y	11	1昨日したこと	昨日したこと	Y	?	Y	Y	31	例を参考にして、ペアでクイズを出し合おう。例: It's used in the kitchen. It's used when you want hot water. B: I think it's a kettle. A: You're right.												31	21
	ペアになり、例にならって、相手がどれくらい聞き取ったのか「取り組んできたか」をたずね合ひましょう。重要な情報はメモしましょう。例 A: I like haiku very much. B: How long have you liked them? A: I've liked them for about five years. I stated writing them in elementary school. B: That's great.		Y	?	Y	Y	28	2行ってみたい場所	行ってみたい場所	Y	?	Y	Y	31	これまでに読んだことがある本や、見たことのある映画などについて、ペアで話そう。例: What's the best book you've ever read? B: Hashire Merosu is the best book I've ever read. A: What's it about? B: It's about friendship. It was written by Dazai Osamu.	本、映画、	Y	?	Y	Y							31	73

2021年度中学校外国語科新教科書分析

教科書D							教科書E							教科書F									
質問	話題	言語活動の4つの視点について				ページ	気づいたこと	質問	話題	言語活動の4つの視点について				ページ	気づいたこと	質問	話題	言語活動の4つの視点について				ページ	気づいたこと
		相手意識	必然性	ほんもの	コミュニケーションの楽しさ					相手意識	必然性	ほんもの	コミュニケーションの楽しさ					相手意識	必然性	ほんもの	コミュニケーションの楽しさ		
1 Do you like sport?	スポーツ	Y	?	Y	Y		自分の行ってみたい国にしを入れてみましょう。ペアになっただけでなく、友達と行ってみたい国名を書きましょう。	行ってみたい国	Y	?	Y	Y	10	話すことと書くことが一緒に課題して示されている。やり取りする活動は緑と紺色で。	動物やキャラクターの絵をかいて、内容についてたずね合ひましょう。例 A: Is this a dog? B: Yes, it is./No, it isn't. It's a fox.	自分の絵について	Y	?	Y	Y		下手な絵だと恥ずかしいと思いきや進まない生徒がいるかもしれない。	
2 Do you play video games?	ビデオゲーム	Y	?	Y	Y		「バースデー・ライオン」を作りましょう。お互いの誕生日をたずね合ひ、1月生まれの人から誕生日の早い順に並びましょう。	誕生日					15	Small Talkではない。	ペアになって、相手の好きなことと部活動についてたずね合ひましょう。例: Are you a baseball fan? B: Yes, I am. A: Are you a member of the baseball team? B: No, I'm not.	部活動	Y	?	Y	Y	35		
次の会話を演じてみよう。最後に自由なやり取りを加えよう。		Y	?	Y	Y	11,13,23,54,7,61,67,107	これらは、会話を続けるためのよい練習にはなるが、STとは言えない。	ペアになり、時間があふるときや悲しいとき、悲しい気持ちになった時すること	?	Y	Y	15		自分の理想の絵をかきましょう。例にならなくて、次のものがあるかどうかをたずね合ひましょう。	自分の理想の部屋	Y	?	Y	Y	9			
あなたが参加してみたいクラスを選んで、友達と会話してみよう。上にみどり市文化センターで開催される「日本文化教室」の案内がある。	参加してみたいクラス	Y	?	Y	Y	104	架空の話なので、STとは言えない。	ペアになり、友達と(1) (2)について好きかどうか質問して、YesかNoに○を付けよう。友達の答えがYesなら、さらに質問をして、答えを表の一に書きましょう。	Y	?	Y	Y	21	例にならなくて、次のときどうするか、たずね合ひましょう。自由時間があつたどうする。A: When you have free time, what do you do? B: I listen to music when I have free time.		Y	?	Y	Y	11			
Small Talkとはしない。でもこうしたこと続けるうちに、話すことに対する抵抗感がなくなり、意味がわかることを楽しみ、もしわからなかったらどうしたらいいのかも学ぶことになる。今後の教科書分析は、話をつなげる方略についてどう取り上げられているかを調べることは、できる。	次の会話を演じてみよう。最後のセリフは、自由に考えて書いてみよう。					59	Samll Talkとはしない。台本をたよりにするため。	先週の出来事を思い出し、自分のことを手伝ってくれた人のことをペアで伝え合ひましょう。例: A: Kosuki helped me clean the classroom. How about you? B: My neighbor helped me carry my bag.	先週の出来事	Y	?	Y	Y	13	教科書内容と関連している。	例にならなくて、昔から継続していることについて話しましょう。A: I am a fan of Hanyu Uzuru. B: How long have you been a fan for him? A: Since the Sochi Olympics.		Y	?	Y	Y	23	
次の質問に、2文以上で自由に答えてみよう。Have you or your family ever asked for a foggy bag in a restaurant? Yes, I have. When my family had lunch at a Chinese restaurant, my mother asked for one to take our leftovers home. I don't think it's a good idea to leave the food we have ordered.	お持ち帰り袋について	Y	?	Y	Y	59	本文に関連する話題。授業で内容を良く扱えば話したい気持ちが湧いてくるか。でも興味心がない、そんなことはしたくない、生徒は話さなくなってしまうか。	ペアになり、一人がAからDの写真を見せてそれが何かをたずね、もう一人が答えましょう。	Y	?	Y	Y	15	例にならなくて、友だちに聞きたいことを、いろいろな疑問詞を使ってたずね合ひましょう。例 A: Tell me what you want for your birthday. B: I want a new pair of basketball shoes. When is your next volleyball game? Where is the nearest station? How can I improve my English? What do you usually eat for breakfast? Who plays the drums in your band?	誕生日に欲しいもの					37	STではないと思う。ただ、文型にも慣れさせたいと思う時にこれは有効な練習方法とは思わう。		

the balcony.」という例示がある。(教科書F) 指導者としては、例えば梅雨末期の大雨予報時に、「明日から数日大雨が降ると予報が出ています。例にならってどんなことをするか話し合いました。(例)A: I will prepare a raincoat. B: I will use new boots.」とすることもできる。秋に「台風に備えてどんな準備をしますか。」という話題も可能性の1つである一方、台風による被害が大きかった地域の場合は、この話題自体が適さないと判断する場合もあるかもしれない。いずれにしても、教科書の活動を大切にしながら、指導者のこれら4つの視点を大切にしながらのプラスの工夫で生徒のSmall Talkへの取り組みは良い方向に向かう。

4 小学校教科書と中学校教科書とのSmall Talkの話題に関する違いはあるだろうか。

ここでは、数的には表しにくい中学校外国語科教科書におけるSmall Talk取り扱いの特徴を明らかにする。

第1に、巻末等に数個の話題が提示され、その中から選んでSmall Talkをするという形式をとっている4つの教科書がある。話題は、「好きな音楽」「好きなゲーム」「食べたいもの」「兄弟、姉妹」などさまざまである。これらを活用することによって、指導者は簡単にSmall Talkを実施できるという簡便性がある。一方で、生徒が選ぶことによって、いつも同じ話題になってしまう、また示された話題が定着を図りたい語彙や文構造が産出されやすいものであるかどうかを吟味する必要がある。

第2に、ディベート的な話し相手との意見の相違を意識した話題が全教科書にいくつか提示されている。話題としては、「給食か弁当か」という簡易ディベートに活用できるものが提示されている一方で、各自の好みをその理由も加えて話すことで、簡易ディベートの前段となるやり取りの力を育成する話題もある。「海か山か」「夏か冬か」「手紙かメールか」の好みを聞くものから「Which is more interesting for you, music or sports?」(教科書B)と英語で話題提供するものもある。

松本(1996)は、高等学校の新学習指導要領外国語科にディベートが取り上げられていることに関連して「ある議題(提案)に対して対立する立

場をとるディベーター同士が、聴衆を論理的に説得するために議論すること」と述べている。全国教室ディベート連盟(2017)は、ディベートで身につく力として「理由を説明するとともに順序を組み立てて話すことができるようになる。」「相手の話を正確に理解するための聞く力が身につく。」「自分の言いたいことをよりはっきりと、わかりやすく伝えることができるようになる。」と述べている。これらの主張は、中学校学習指導要領(2017)の目的である「相手からの質問に対して、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたり」「伝えようとする内容を整理し、自分の作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う」などとも強く関連している。こうした意図から中学校段階では、本格的なディベートの前段の活動が提供されている。

第3に、教科書内容を理解して、それをもとに自分の気持ちや考えを述べるSmall Talkの場面が設定されている。例えば、教科書Aでは、コンゴ民主主義共和国のゴリラが絶滅の危機に瀕する因果関係が取り扱われている。その単元学習の後半に「次の具体的な対応例が『有効か』や『実現可能か』を考え、意見を交換しましょう。またどんな対応があり得るか。話し合みましょう。」とある。また、教科書Dでは、レストランでの食べ残した食品を家に持ち帰るための持ち帰り袋(foggy bag)について扱われている。その単元の終わりに「次の質問に2文以上で答えてみよう。Have you or your family ever asked for a foggy bag in a restaurant?」とある。

これらは、いずれも社会的な問題に対する自分の意見や考えを述べる機会ともなっている。こうした教科書内容について意見を述べる利点は、教科書で学んだ語彙や文型を利用して語ることによって、互いの発言が理解しやすいこと。これは、Small Talkの1つ目の目標である既習事項の定着を語彙面でも構文面でも図ることができる好事例ともいえる。

また、テーマとなる社会問題の内容理解も一定程度共通にされていること。これらのことから、「話す[やり取り]」を展開することを新たな社会的な話題を提供するより、内容理解を容易にしている。多くの中学生は、相手が自分と同じ意見な

のか、あるいは違う意見なのか、それはどのような理由からを聞いてみたいという好奇心を持ち、Small Talkへの取り組み意欲は高まるはずである。

第4に、条件付のあなたの気持ちや考えを述べる場面が設定されている。これは、4社の教科書に例があり、2、3年生にその例は多い。例えば、「①から③の子どもたちにどんなことをしてあげたらよいかペアで話し合う。①迷子②おもちゃが壊れてしまった。③宿題が解けない。」(教科書C)が、設定されている。また、「次の日曜日、天気によって何をするかを表に書き、友達と伝え合いましょう。(1)If it is fine, (2)If it is rainy, (3)If (自分で考えて)」とある。」(教科書D)とある。いずれも小学校では学習していない、仮定法を学んだ後で、“If …, ….”の文構造を定着させる目的もある。また、より複雑な条件で思考することは、生徒の発達段階とも合って、「コミュニケーションの楽しさや意義」を実感できるSmall Talkとなる可能性がある。

IV まとめ

以上、6種類3学年分の中学校外国語科教科書について、Small Talkの頻度、その話題、意味あるやり取り、そして小学校教科書と比較して中学校教科書における特徴について論じてきた。このことから明らかになったのは、①Small Talkを取り扱う回数は、教科書によって差がある。一方、いずれの教科書も1年生では比較的多く、学年を進むにつれて頻度は減少する傾向がある。②Small Talkの話題は、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領のそれぞれの例示に類するものが、ほとんどである。小学校の例示と中学校の例示は、ほぼ同じ頻度で扱われている。③「意味のあるやり取り」にするための「必然性」を感じさせる話題提供の数は多くはないが、好事例もいくつか確認できる。④中学校教科書では、話題がリスト化されていることが多い。また、ディベート的な話題や教科書内容について自分の気持ちや考えを述べるなど特徴的な話題も見られる。

こうした教科書の特徴を理解した上で、指導者は、指導する生徒の実態に合わせて、話題を提供することが大切になる。そのことによって、生徒は、より多くの頻度で「意味あるやり取り」を経

験することになる。

今後、Small Talkの具体的な指導に関連して、分析していくことに意味がある。具体的には、事前準備と会話分析の視点からSmall Talkにおける発話を分析することで、指導者としての力量向上と、授業改善に結び付けることができる。

また、ここでは扱うことのできなかつたSmall Talkのもう一つの目標「対話をつづけるための基本的な定着を図る」に関連して、小中学校の教科書にはどのような手順やヒントが提示されているのか、教科書分析することで指導等のヒントを得ることができる。

〈参考文献〉

- ベネッセ教育総合研究所(2018). ダイジェスト版『中3生の英語学習に関する調査(2015-2018継続調査)』ベネッセコーポレーション
- 房野桃花(2019). 中学校英語の「話すこと」における「やり取り」と「発表」に関する一考察：教科書分析に焦点を当てて 安田女子大学英語英米文学会英語英米文学論集(28), 57-77.
- 廣森友人(2015). 英語学習メカニズム ー第二言語習得研究にもとづく効果的な勉強法 東京：大修館書店
- 菅正隆(2017). 小学校英語教育課程実践講座 外国語活動・外国語 東京：ぎょうせい
- 国立教育政策研究所教育課程研究センター(2020). 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 外国語】 東京：東洋館出版社
- 国立教育政策研究所教育課程研究センター(2021). 平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた学習指導の改善・充実に関する指導資料 中学校 英語
- Long, M. H. (1996). The role of linguistic environment in second language acquisition. In W. Richie & T. Rhatia (Eds.) Handbook of second language acquisition 413-468 Academic Press New York
- 松本茂(1996). 頭を鍛えるディベート入門ー発想と表現の技法 ブルーバックス 東京：講談社
- 三浦孝(2021). 英語授業研究会第32回全国大会シンポジウム「日本の小・中・高における英語教育の現状、課題、展望」2021年8月22日オンラインライブ
- 文部科学省(2020). YouTube文部科学省チャンネル "mextchannel" Classroom English <https://www.youtube.com/mextchannel>

- [com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbDIUWRy-Q2GRlj6eokC1gV](https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbDIUWRy-Q2GRlj6eokC1gV) 2021年8月2日確認。
- 文部科学省(2017). 小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック
- 文部科学省(2018). 小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編
- 文部科学省(2018). 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編
- 文部科学省(2018). We Can! ① 指導編
- 文部科学省(2018). We Can! ② 指導編
- 文部科学省(2019). 移行期における指導資料について(中学校外国語科)
- 文部科学省(2019). 全国学力・学習状況調査結果
- 文部科学省(2020). 編修趣意書 中学校 外国語(令和元年度検定) https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/tenji/mext_00010.html 2021年8月11日確認。
- 中野聡(2021). 2020年度小学校外国語科新教科書分析ーSmall Talkにどう活用したらよいかー北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部研究紀要 第13号 47-60
- 直山木綿子(2020). [なるほど! 小学校外国語①] 言語活動 直山木綿子 文部科学省初等中等教育局視学官×櫻木瑤子 文部科学大臣報道官 YouTube文部科学省チャンネル"mextchannel" Small Talk <https://www.youtube.com/playlist?> 2021年6月5日確認。
- 佐藤可士和(2021). 「世界最高のアウトプットを生む勉強法」『PRESIDENT 2021年7月2日号』 東京:プレジデント社
- 柴田真一(2020). NHKラジオ英語ビジネス英語解説 2021年6月18日放送 聞き逃し配信で確認。2021年6月23日午後2時。
- 鈴木渉(編)(2017). 実践例で学ぶ 第二言語習得研究に基づく英語指導 東京:大修館書店
- 上原景子、山田敏幸、レイモンドB.フーゲンブーム他(2018). 英語教育における流暢さと即興性の育成ー中学校の話すことにおける意義の一考察 群馬大学教育学部紀要 人文・社会科学編 第67巻 177-196
- 上山巳歩里、榎本三紀子、岡久美子(2019). 中学校外国語科における授業づくりについてー考察: Small Talkと複数の領域を統合した言語活動の指導を通して 和歌山県教育センター学びの丘研究紀要 45集 1-11
- 和田順一(2020). Small Talkにみられる教師の発話の特徴ーMERRIER Approachからの分析ー JES journal 小学校英語教育学会誌 20 288-3
- H. G. ウィドウソン著 東後勝明、西出公之訳(1991). コミュニケーションのための言語教育 東京:研究社出版
- 山田誠志(2020). 【中学校 外国語 編】学習評価の在り方・「指導と評価の一体化」のための学習評価 <https://eigojoho.eiken.or.jp/learning-assessment-secondary-school-foreign-language> 2021年8月11日確認。
- 山口美穂、巽徹(2021). Small Talkを実践した児童の発話パフォーマンスの変化と情意の関係 JES journal 小学校英語教育学会誌 21 38-53
- 八島光希(2020). 高等学校外国語科における、英語即興力と会話持続力を向上させるSmall Talkの活用 玉川大学教職大学院 教員養成研究紀要 12 244-257
- 全国教室ディベート連盟(2017). ディベートをやる論理的に考える力が身に付く PHP研究所